



# 湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2019年9月20日(金) 天気：晴れ  
例会 第2780回 合唱：それこそロータリー

会長 平間 章弘  
幹事 室伏 学

事務所：神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内  
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716  
例会場：ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107  
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401  
例会日：毎週金曜日 12:30~13:30

## 会長挨拶

今日は敬老の日に際し、認知症についてお話しします。認知症とは“生後一旦正常に発達した様々の精神機能が慢性的に減退・消失することで、日常生活や社会生活を営めない状態”をいいます。

世界各国に先駆けに日本では人口の高齢化が進み、それに伴い認知症高齢者も急増し、2012年現在、65歳以上の高齢者の有病率は15%と推定され、軽度認知症を含めると、有病率は28%と推定され、2025年(令和7年)には700万人を超えることになり、65歳以上の5人に1人が認知症と予想されます。

代表的な認知症には「アルツハイマー型」「レピー小体型」「血管性」そして「前頭葉変性症」があります。

認知症はまずは予防です。第一に適度な運動療法です。次に栄養です。葉酸やビタミンE、ポリフェノールやカテロイド、DHAをとることを心がけ、生活習慣病を予防する食事をする。つまりは、過食を避け、減塩し、野菜・果物・肉・魚などの様々な食品から構成される質の高い食事を摂取することが大切です。

また、社会的交流を多くして孤立をなくすことで、発症リスクを抑えることもできます。このようなことを心がけて、質の高い老後を過ごすことを目指しましょう。

## 幹事報告

ガバナーより

1. 2020-21 実施年度向け 第1回地区補助金説明会のご案内

日時：10月26日(土) 13時~15時

場所：第一相澤ビル3階会議室

地区補助金申請予定クラブは、今回の第1回説明会、若しくは1月に開催される第2回説明会に必ずご出席をお願い致します。対象者は会長エレクトと社会奉仕プロジェクト委員長、会長、幹事のうち1名以上の1クラブ2名以上になりますので宜しくお願い致します。

回答期限：10月18日(金)

2. 2019年手続要覧の地区財務の監査報告(RI細則16.060.4)に従い、地区資金会計報告及び監査報告を送付いたします。

3. 米山月間卓話者派遣について

卓話日：10月18日(金)

<米山奨学生>氏名 曾シヨウ(女性) 大学(慶應義塾大学)・国籍(中国)

<随行の地区委員>

氏名 常盤卓嗣

クラブ名 平塚ロータリークラブ

ご本人とは直接ご連絡を取り、当日のご確認をお願いいたします。

連絡事項 無し

出席報告	ゲスト 0名 ビジター 2名	会員 24名
	欠席 7名(免除者1名)	前回の修正出席率 83.33%
	出席率 73.91%	前々回の修正出席率 70.83%

事前メイクアップ 0名

ゲスト 地区公共イメージ委員会  
委員長 佐藤祐一郎君(津久井中央RC)  
山下憲男君(東京お茶の水RC)

## スマイルBOX

9/20~26

地区公共イメージ委員会 委員長 佐藤祐一郎君(津久井中央RC)

本日は貴重なお時間を拝借しありがとうございます。今後とも宜しく御願い申し上げます。

山下憲男君（東京お茶の水RC）

本日2回目の参加でございます。神谷様には大変お世話になっております。

西山敦君

9月14、15日城堀産土八幡神社例祭が好天に恵まれ盛大に斎行されました。

神谷一博君・小倉高代君

佐藤祐一郎地区公共イメージ委員長様、本日は大変お忙しい中、湯河原ロータリークラブにお越し頂きましてありがとうございます。ご指導よろしくお願ひします。

神谷一博君

東京お茶の水ロータリークラブの山下様、本日は湯河原ロータリークラブにお越し頂きましてありがとうございます。自クラブでは公共イメージ委員長をおやりになっており、地区ではRLI委員会でディスカッションリーダーをおやりになっております。忙しい所、本日はありがとうございます。

神谷一博君

昨日と今日、おはずかしながら、湯河原新聞に私の記事が掲載されました。今後共よろしくお願ひ致します。

## 卓話:小倉高代君

地区公共イメージ委員会 委員長 佐藤祐一郎君（津久井中央RC）

貴クラブを訪問いたしますのは2016年、田中賢三ガバナー年度以来でございます。湯河原RCの皆様には心より感謝申し上げたいと思います。では、本題に入ります。

(1)公共イメージと認知度の向上は何故重要か

外に向けてロータリーの話をする機会があるならば、是非正しいロータリーの活動を説明して頂きたいと思ひます。

ロータリーの社会奉仕活動は、シカゴロータリーが町に公衆トイレをつくったのが始まりと言われます。ロータリーの社会奉仕は、ニーズを探し、道筋を立て、外部の諸団体と手を携えて実現するものだという理念が初めからあった訳です。杉岡ガバナーは「1ラブ1奉仕プロジェクトを！」というスローガンを掲げておられます。大体、公共イメージとか認知度とか言いますと、増強と拡大の手段だと思われがちですが、奉仕活動の実践が最終的かつ副次的に奉仕を志す素晴らしき仲間を集わせることで増強に結び付くのであって、その根本である奉仕活動を支えるのが公共イメージと認知度であり、それを向上させるのが公共イメージ委員会の役割ではないかと思ひております。

(2)地区公共イメージ委員会活動の現況と課題

第2780地区における公共イメージ委員会は、本年度から遡る事5年前の相澤PG年度から始まります。以後地区公共イメージ委員会も「END POLIO キャンペーン」に格段の努力で取り組み、成果を収めて来ました。もちろん公共イメージ向上に向けては、意義ある奉仕活動の実践は不可欠ですし、一人一人がロータリーの広告塔なのですから、ロータリアンの特質としての戦略計画の中核的価値観、「親睦」「高潔性」「多様性」「奉仕」「リーダーシップ」を背負って行かなければならないと思ひます。そして本年度のテーマ「つなぐ」は公共イメージ委員会なくしては語れないではないかと思ひております。

(3)本年度公共イメージ委員会の活動について  
2019～2020年度（令和元年～2年度）の戦略計画年次目標には、「優先事項2の目標：行動する」で「・ポリオ撲滅活動においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える」「・ロータリーの認識を高め、『世界を変える行動人』キャンペーンを促進する」とあります。取り敢えず『世界を変える行動人』というのがキャンペーンのキーワードになります。本年度公共イメージ委員は何をやっているのかをお話いたします。

- ①公共イメージと認知度の向上のための End POLIO キャンペーンを支援する。
- ②SNSを利用した地区内外への情報発信。
- ③ROTARY ステッカーの作成。
- ④セミナーの開催。

さて最後になりますが、公共イメージ委員会は楽しくやっています。皆様も是非一緒にロータリー活動を楽しみましょう。

